

問5 下線部④の線状降水帯が形成されるには、発達した積乱雲のすぐ近くで新たに雲が形成される必要があります。その原因として、図13のように連続して上昇気流が発生することによって積乱雲が線状に連なり、特定の地域に長い間雨をもたらすことが必要だと考えられています。1つの学説として、雨が降ることによって下降気流が生じることが原因としてあげられています。下降気流が地球の表面にぶつかって周囲へふき出す風となり、雲を移動させる風とぶつかることで上昇気流が発生し、雲の進行方向と反対側に新しい積乱雲をつくると考えられています。

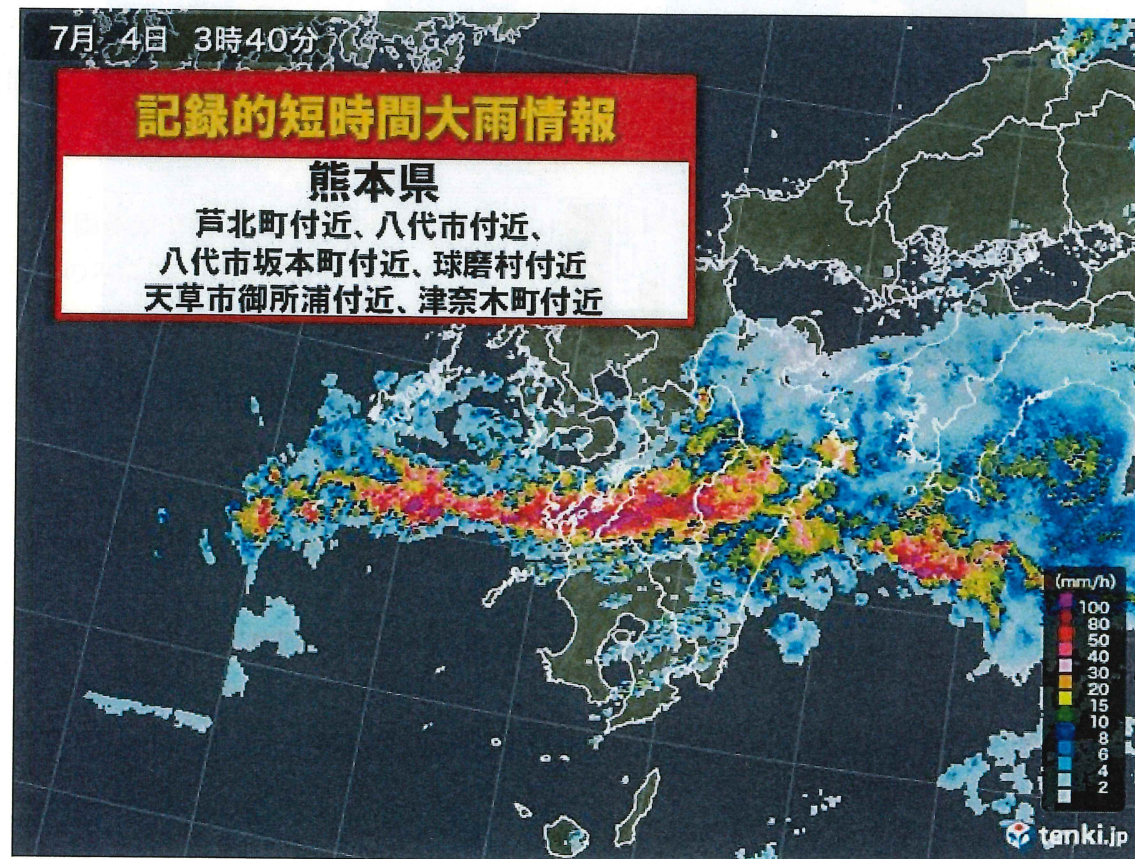


図14 令和2年7月豪雨

<https://tenki.jp/forecaster/deskpart/2020/07/04/8241.html>

図14は『令和2年7月豪雨』の際の降水量を示したものです。線状降水帯における積乱雲が成長している場所を直径1cm程度の○で囲い、雲の移動の方向を矢印で示しなさい。

問6 下線部⑤について、この写真の光景において土砂災害が発生する前兆として考えられる点を挙げなさい。

